

プログラム 第8回日本神経病理学会近畿地方会 2013年12月14日(土)

<世話人会> 12:00~12:50 (3F会議室)

<標本展示> 13:00~14:45 (第3実習室)

<口 演> 14:55~16:45 (第3実習室)

14:55~15:00

開会の辞: 大阪府済生会中津病院 神経内科 山本 徹先生

セッション1: 座長 山本 徹先生 (大阪府済生会中津病院 神経内科)

15:00~16:00

1. 多発性骨髄腫の経過中, 多彩な神経症状をきたした一剖検例

○井上貴美子¹⁾, 森千晃¹⁾, 山寺みさき¹⁾, 山口浩司²⁾, 須貝文宣²⁾, 藤村晴俊¹⁾, 佐古田三郎¹⁾

1) 国立病院機構刀根山病院 神経内科

2) 国家公務員共済連合組合会 大手前病院 神経内科

2. 残存運動ニューロンに粗面小胞体の過形成を認めた lower motor neuron disease の1剖検例

○新宅雅幸¹⁾, 金田大太²⁾

1) 大阪赤十字病院 病理診断科、2) 同 神経内科

3. 食欲不振とパーキンソニズムで発症し、急速に意識レベルが低下した白質脳症の一例

○隅寿恵¹⁾, 廣澤太輔¹⁾, 森谷真之³⁾, 別宮豪一¹⁾, 本間圭一郎²⁾, 中森雅之¹⁾, 三原雅史¹⁾, 望月秀樹¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科神経内科、2) 同附属病院病理部、3) 市立豊中病院神経内科

セッション2: 座長 井上 貴美子先生 (国立病院機構刀根山病院 神経内科)

16:00~16:40

3. MSA-P+A に Lewy 病変を合併した高齢者剖検例

○伊東 恭子¹⁾, 丹藤 創¹⁾, 吉岡 亮²⁾, 大道 卓麻²⁾, 伏木 信次¹⁾

1) 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学

2) 国立病院機構舞鶴医療センター 神経内科

4. 「老人性精神病」と診断され、経過中 tardive dyskinesia 等を呈した、死亡時 93 歳女性の TDP43-proteinopathy の剖検例

○堀 映、橋詰良夫、赤津裕康

福祉村病院

16:40~16:45

閉会の辞: 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学 伏木 信次